

第14回 グリーン購入大賞 応募用紙

記入日:2012年 6月28日

部 門	1	大手企業	
	2	中小企業	
	③	行政	
	4	民間団体・学校	
	5	協働プロジェクト	
※部門「該当するものに○」を付けてください。			
応 募 テ ー マ	①	グリーン購入の推進の取り組み	
	②	グリーン購入を促進させる製品・サービスの普及拡大の取り組み	
	3	グリーンコンシューマーの育成・増加への取り組み	
特別テーマ	農・林・水産業に関わるグリーン購入の普及拡大の取り組み		
※応募テーマ「該当するものに○」を付けてください(複数でも可)。			
応 募 者 の プ ロ フ ィ ー ル	団体名	(フリガナ) カゴシマケン 鹿児島県	
	※プロジェクトでの応募の場合は、こちらにプロジェクトに参加している主な団体名をご記入ください。		
	応募担当者 連絡先	所在地：〒	
		部署名：	役職名：
		氏名(フリガナ)：	
		電話番号：	FAX番号：
		メールアドレス：	
	ホームページ	http://www.pref.kagoshima.jp/	
	資本金(企業のみ)		
	従業員・職員数		
事業内容(※行政の場合は、記入不要です)：			
取 り 組 み 状 況	※応募団体または応募プロジェクトとしてのグリーン購入の取り組み状況を簡単にお書き下さい。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿児島県では、県民・事業者等に率先して積極的に環境物品の調達を推進するため、平成10年に「県庁環境保全率先実行計画」を策定(H23. 3改正) ○ 平成14年度より毎年「鹿児島県環境物品等調達方針」を作成し、「環境に配慮した製品等の購入・使用」や「公共建築物の建築・改修における環境配慮」等について、全庁的にグリーン購入に取り組んでいる。 ○ 環境物品調達達成率は平成22年度においては、99品目中80品目が90%以上、37品目が100%を達成している。 		

応募内容

(前ページを含め、合計4ページ以内で記述してください。図や写真も使用可能です。)

1. 応募する活動の名称・タイトル

県産材を使用したオフィス家具の開発・普及による林業活性化と地産地消の取り組み

2. 活動の概要

近年、住宅においては、木の良さが見直され構造はもとより内外装においても木材が使われるようになってきた。一方、事務所や公共施設等の内装家具(事務机・椅子・書架・テーブル等)においては、金属主体の製品が主流となっている。

これらの施設においても木材を使用した温もりや安らぎのある空間づくりが求められているが、これまでの木製オフィス家具は、外材や輸入合板を使用したものや事務所や施設の目的に合わせて特注された家具が多く、製品カタログもなく、普及が進まなかった。

このようなことから、事務所や公共施設等において使用することのできる県産材を使用した製品の開発やカタログの作成・配付により、普及を促進し、県民に対して木の良さのPR、県産材の利用拡大と併せて環境に対する意識の啓発に寄与することを主眼に取り組みを行っている。

1 目的と方法

かごしま県産材の利用拡大と林業と関連産業の活性化

- ・ 県産材を使用したオフィス家具の開発・普及による木材利用・森林整備の推進
- ・ オフィス家具の県内生産による、地産地消の取り組み

2 内容

- ・事務所や公共施設で使用することのできる県産材を使用した製品の開発・普及
- ・事務所や公共施設での導入を促進するための環境貢献活動の検討

3 活動主体

官民連携プロジェクトとして、大手家具メーカー(10社)による提案コンペを実施
審査の結果、鹿児島県と榑岡村製作所が協働で行うこととなった。

3. 活動による成果・効果(できるだけ具体的・定量的な内容をご記入ください。)

1 製品の開発

オフィス空間向け製品

デスクシステム系、収納系、カウンター系、会議テーブル系、会議用椅子系、コミュニケーション系、応接ロビー系……………101機種1037アイテム

2 製品普及のためのカタログの作成・配布

製品カタログを作成(資料1)し、関連事業者へ配布することにより購入促進を図った。

部数:6,000部、配布先:各自自治体(県市町村)と関連機関、民間企業・学校・各種団体等
従来の手作りの家具の価格より購入しやすい価格設定を行った。(価格の見える化)

3 環境への配慮

- ① 製品のCO2固定量をカタログに記載
- ② かごしまCO2吸収量等認証制度によるCO2固定量の認証
- ③ できるだけ環境に負荷を与えないように、原料調達から完成まで県内生産を重視(資料2)

4 販売状況

2012年3月～4月 販売額 500万円 今年度1億円売上見込み

納入例: 県の施設, 銀行 引合: 市役所, 銀行, 大学, 医療福祉関係法人, 民間企業 等

5 社会貢献 その他

「製品1台に苗木1本の寄贈」運動の実施(販売金額に応じた率にて、緑の基金として寄付 資料3)

今年度 約1000本の予定

今後、活動を更に発展させるため鹿児島県産材パートナー宣言を締結 (資料4)

4. 活動に関して、①先進性・独自性、②継続性・発展性についてご記入下さい。(各200字程度)

①先進性・独自性

- ・県レベルで製品開発とカタログの作成を行い、オフィス家具への地域材活用・製品化の取り組みは、全国で初めて。(※価格表示された地域材使用オフィス家具カタログは他にない)
- ・オフィス向けの木製家具の開発を、スチール家具メーカーと官民協働で行い、従来のスチール家具と木製家具の融合をはかった。

②継続性・発展性

<継続性>

- ・鹿児島県産材パートナー宣言 (資料4)

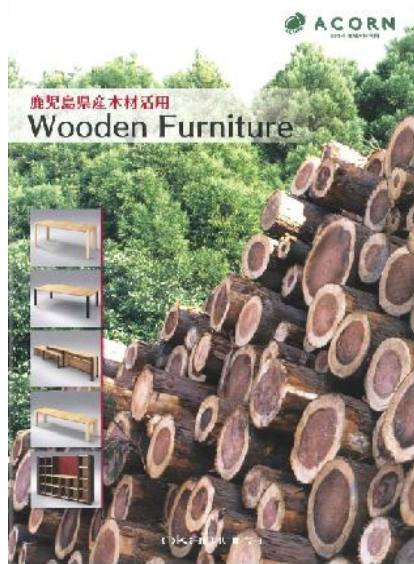
今後も継続して、鹿児島県産材を使用した質の高い機能的なオフィス家具づくりを進め、広く普及することなどを目的に、関係者が宣言書に署名した。

- | | | |
|-------------|---------|----------------------------|
| 岡村製作所 | | 鹿児島県産材を利用した優良なオフィス家具の開発と普及 |
| 鹿児島県森林組合 | } | 森林の適切な整備と木材の生産・流通・加工体制の整備 |
| 鹿児島県林材協会連合会 | | |
| 鹿児島県 | | 良質な鹿児島県産材を安定供給する |
| 林野庁(立会者) | | 良質な鹿児島県産材の供給体制作りを支援 |

<発展性>

プロジェクトは継続し、更なるオフィス空間での利用拡大をはかるため、パーティクルボードの開発、セラミック活性炭、竹材使用家具の開発など、引き続き環境に負荷の少ない、鹿児島県産材の利用拡大のための商品の開発を継続する。

<製品カタログ> (資料1)



ハイカウンター			
形状 (W×D)	1800	1200	
仕様			
製品コード	4LK1RA	4LK1RB	
仕様コード	WC33/WC35	WC33/WC35	
CO ₂ 固定量	59.6	45.0	

ローカウンター			
形状 (W×D)	900	1200	
仕様			
製品コード	4LK1RL	4LK1RM	
仕様コード	WC33/WC35	WC33/WC35	
CO ₂ 固定量	61.2	47.3	

CO2固定量の表示



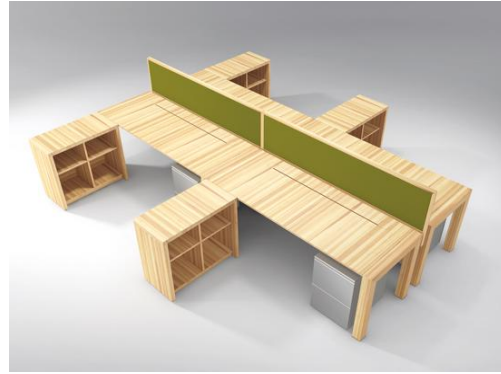
デザイン性と機能性を兼ね備えた製品(一部)

＜地産地消を意識した原料調達から製品製造までの流れ-HAGIシリーズの例＞

(資料2)

原木調達
鹿児島県内各森林組合
↓
製材加工
南九州市 木材加工センター
↓
家具加工製造
鹿児島市 家具製造会社

(設計 : 岡村製作所)



＜森林の資源循環活動＞ (資料3)



製品一台に苗木一本を寄贈する取り組みを実施
(岡村製作所)

「緑の募金」は、昭和25年に始まり、その後広く国民に緑への理解と協力を呼び掛ける一大国民運動となりました。そして、平成7年には、この運動が「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」として法制化され、「緑の募金」が誕生しました。

＜鹿児島県産材パートナー宣言＞ (資料4)



「鹿児島県産材」パートナー宣言

株式会社岡村製作所は、鹿児島県産材を使用した質の高い機能的なオフィス家具づくりを進め、全国に広く普及することに努めます。

鹿児島県森林組合連合会及び社団法人鹿児島県木材協会連合会は、森林の適切な整備や木材の生産・流通・加工体制の整備を進め、良質な鹿児島県産材を安定的に供給します。

鹿児島県は、良質な鹿児島県産材の供給体制づくりを支援します。

平成24年1月20日

株式会社岡村製作所
代表取締役社長 久松一良
鹿児島県森林組合連合会
代表理事会長 加治屋義人
社団法人鹿児島県木材協会連合会
会長 柴立鉄彦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎
(立会者)
林野庁次長 沼田正俊

宣言者
(株)岡村製作所 代表取締役社長 久松一良
鹿児島県森林組合連合会 代表理事会長 加治屋義人
鹿児島県木材協会連合会 会長 柴立鉄彦
鹿児島県知事 伊藤祐一郎
立会者: 林野庁次長 沼田正俊